

答 弁

市及び関係団体、自治会、利用団体の方を組織し、仮称・愛西市スポーツ施設運営協議会を立ち上げ、意見をもらい、運営に当たりたい。

スポーツ団体、大会などの関係は、教育委員会の社会体育課が窓口となり、継続を促していきたい。

質 疑

各地で日常業務を派遣、アルバイト、パートなど契約社員にさせる手抜き管理が行われ、重大な事故が出ている。スポーツ施設の指定管理は大丈夫なのか。

答 弁

契約社員に日常業務をさせることそのものが手抜き管理とはとらえていない。ただ、管理体制として、必要な業務について専門職員を配置するよう職員配置計画の提出を義務づけ、協定の中でも明文化する。



**平成22年度
補正予算**

■ 一般会計補正予算

補正額 5千822万円
総 額 219億3千796万1千円

■ 主な内容

後期高齢者の医療給付費負担金、住民税非課税世帯などに対するインフルエンザワクチン接種助成費補助金、諸桑町地内の防災ステーション進入路建設に伴う土地購入及び補償費などです。

質 疑

住民税非課税世帯に対するワクチン接種助成補助金について、対象者数、実施方法、また補助対象となる住民の割合は。

諸桑地内の防災ステーション進入道路建設について、道路工事に続く防災ステーションの工事計画は。

答 弁

0歳から12歳は2回接種で6千150円、650人を想定して399万7千500円。13歳以上は1回接種で3千600円、1千500人

を想定し540万円。

防災ステーション進入路は全体で約650メートル、幅員は6・5メートル。できれば本年度中に着手し、23年度に完了と県から説明された。本体は、予定では、24年度着手、26年度完成と聞いている。

**■ 老人保健特別会計補正
予算**

補正額 1千711万6千円
総 額 2千339万9千円

**■ 後期高齢者医療特別会
計補正予算**

補正額 352万4千円
総 額 6億436万1千円

**■ 介護保険特別会計補正
予算〈保険事業勘定〉**

補正額 3千774万円
総 額 35億4千598万1千円

**平成21年度一般会計
歳入歳出決算**

質 疑

高齢者タクシー扶助に関して、使い切った方はどのくらいか。実態に基づいた補助枚数の増額が必要ではないか。

答 弁

24枚利用した方の人数は257名で、全体973名のうち26・41%の方が使い切っている。枚数の増加については、尾張地区でも85歳以上、90歳以上年間48枚、30枚のところもあるが、現状でしばらくいきたくない。

質 疑

平成21年度佐屋プール、緑苑プールで全体で9千584人の利用があった。緑苑プールは、そのうち4分の1の2千473人利用した。取り壊しの方向で説明があったが、廃止する場合、プール利用の要望にどのようにこたえていくのか。

答 弁

緑苑プールは、今後、焼却場の取り壊しの施工に伴い、プールの取り壊しの協議がされる予定だ。

質 疑

農地・水・環境保全向上活動の成果と問題をどのように考えているのか。この事業は、23年度までとなっているが、24年度以降はどうなるのか。

答 弁

活動区域の道・水路の草刈



りや江ざらえ、ごみ拾いなどを地域の農家と一緒に、子ども会や老人クラブ、婦人会などの協力を得て、環境美化に努めている。24年度以降については決まっていない。

質 疑

愛西市は、実質収支比率が大変高いのではないか。公会計の本を読むと、3%から5%が望ましい数値だと書かれている。予算立てが甘いのではないか。

答 弁

補正財源保留財源として、繰越金を7億円程度確保したいとの考え方で、3月補正で財源調整を行っている。扶助費、医療費などは、補正予算作成時に額が最終確定していない。予算不足が起らないように、減額補正をしづらい。歳入の関係で、特に特別交付税、5億円程度は3月にならないと交付額が確定しない。